



卒業

暖かい日差しの中、車窓から眺める黄色や桃色、白い花々。季節は春を感じます。そして3月は卒業式があります。レフト・ライトも6人の高校生がまごころを卒業していきます。中には10年の歳月を児童デイで過ごした子もいます。

小さな体が大人と同じ立派な体格にまで成長した姿に、写真の移り変わりに感動を覚えます。様々な活動を通してスタッフや子ども達との関わりの中で、出来ることが増え、励ましを受けてやり遂げた満足感や達成感を得られたら、とても嬉しいです。

子ども達の中には、「〇〇ちゃんは今もう来ないの？寂しいな。」と寂しい気持ちを言葉に表していた子もいました。スタッフも同じ思いです。

卒業するお友達へアルバムをプレゼントしました。型抜きした桜の花をアルバムに飾ったり名前を書き込んでくれたり、とっても綺麗にできました。送る会では笑顔でも、帰り際には涙あり。

児童デイを卒業ですが、これまでの思い出と沢山の笑い声や笑顔をありがとう。明日からも笑って活きましょね。



デイサービス通信

からだジャンケン



小さい頃から慣れ親しんだジャンケンは誰でもできることですが、そのジャンケンの出し方を体で表して、それも相手の出したジャンケンに遅出しで表すとなると少々頭を使います。

単純なルールで新たなことを覚える・・・脳の活性化にとっても効果のあることだと思います。

利用者さんと楽しみながら、関心や興味を持ち、意識を集中する・・・

「あ！間違えた！」と言いながらも、ジャンケンと言うルールをひと味違えて、今日も皆さんと楽しんでレクリエーションをしています。

3月の末には桜の開花が聞かれる頃です。毎年恒例の『花見田楽』が待ち遠しいですね。



「グー」



「チョキ」



「パー」



からだジャンケンのポーズ

心づれ

楽しい活動にするために



私は3年程前から、まごころの放課後等デイサービスで支援員として働いています。デイの中では、子どもたちと一緒に楽しく過ごせるよう心掛け、日々の活動に取り組んでいます。

この会報の機会を通じて、デイの主活動で感じたことをお話ししたいと思います。

デイの主活動は週毎に替わり、その中でも子どもたちが特に期待をしている活動が「クッキング」だと感じます。子どもたちは何よりも食べることを、作ること、そして達成感を味わうことができる、クッキングの活動が好きだからです。

しかし、当初の私はそんなクッキングを担当することが大の苦手でした。というのも、私が普段から料理をしないため、教えること自体が難しいことだったからです。しかし「活動は楽しいものでなければならない！」そんな思いに駆られると、子どもたちが楽しめるクッキングを本やネットから探し出し、作る方法から教える方法まで深く追求するようになりました。

始めは、上手い出来ないクッキングの中でも、振り返りを通して、今度は作るものを〇〇にしようとか、作る方法・教える方法を工夫しようなど、色々考えるようになりました。追求していく内に、下手くそなりに思い通りのクッキングができるようになり、次第に私自身も苦手意識がなくなり、活動を楽しむようになりました。今では私自身が一番クッキングの活動を楽しんでいるのでは？と感じることもあります。

このクッキングの活動を通して楽しいものにするには、私自身の気持ちも大事なんだということに気付きました。今後も、そんな活動に対する姿勢や楽しむ気持ちを忘れないでいたいと思います。

協力会員 小林 拓也

ヘルパーだより

NO. 45

Aさんを担当するヘルパー7人が集まって、カンファレンスを開きました。この1~2カ月の間に、2人のヘルパーが新しくケアに加わり、時間帯を同じくする者同士、サービス内容を再確認するために意見を出し合い、ケアの検討を行いました。

重度の障害を持ち、独居のAさんには365日、朝・昼・夕・就寝とヘルパーが訪れ、支援を受けて生活されています。

昼食と夕食作り、その食事介助を担う中で、新しく入ったヘルパーも失敗を繰り返し、Aさんから忠告されながらも度量の大きさに触れて、支援していこうと逆に励まされる思いがあった様です。

様々な支援内容を時間内に行うためには、今回、居室他の掃除をまとめて行うのではなく、気が付いたヘルパーができる時間に行うことにしました。このように、複数でケアに関わる場合は意思統一が必要です。食材も無駄にしないよう、賞味期限を気にしながら、ご本人の希望も取り入れつつ調理します。以前は宅配の夕食サービスも利用されていましたが、それぞれが工夫を凝らしながら野菜中心の食事作りを心がけています。

そんな努力？が実を結んでか、最近では腸内環境も良く「下剤」を服用しなくても毎日快便とのかんファレンスで報告させてもらいました。

今後も皆が一丸となって、Aさんの生活を支援していきたいと思っています。

